

吉村順子（教授）

○専門分野

教育心理学 臨床心理学 コミュニティ心理学 表現に関する心理学

○担当科目

教育心理学 生徒指導 教育相談 教職実践演習

心理学Ⅰ 心理学Ⅱ コミュニケーション論 キャリアスキル演習Ⅴ

○略歴

- ・金沢経済大学（現金沢星稜大学）1985年から2000年
- ・鶴見大学 2002年から

○学位 京都大学大学院 博士後期課程単位取得退学 教育方法学専攻 教育学修士

○著書・論文

- ・『心理学で読み解く源氏物語の女と男』 1999年 単著 北國新聞社
- ・『女子学生がカウンセリングを求める時』 2002年 共編著 ミネルヴァ書房
- ・『森田雄三演劇ワークショップの18年—M コミュニティにおけるキャリア形成の記録—』 2013年 単著 神奈川新聞社

○社会における活動

- ・石川県心の教育推進専門委員会委員長 1998年から2002年
- ・金沢市新エンゼルプラン策定コーディネーター 2000年単年度
- ・子ども夢基金審査委員会委員 2003年から2007年
- ・石川県学力向上教育推進委員会委員 2006年から2007年
- ・福島県における被災地支援者支援活動 2011年から

○教職課程をめざす方へ

鶴見大学文学部では、指定の単位を取得し、福祉施設や特別支援教育施設での体験、学校での教育実習などを終われば、教育職員免許状を卒業時に取得することができます。しかし実際に教壇に立つために必要な資質は、専門の学力、コミュニケーション力、協調性、一般的な良識と態度、社会への関心と知識、継続して学び続けることのできる力、など多様です。4年間の大学生活において、教師として望ましい能力を獲得するよう努力してください。

岩間正則（准教授）

○専門分野 国語教育 教師教育

○担当科目

国語科教育法 教職国語科 教師論 中学校・高等学校教育実習
道徳教育 特別活動 教職実践演習 キャリアスキル演習Ⅴ

○略歴

- ・横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校副校長（2006年～2008年）
- ・鶴見大学文学部専任講師（2008年） 准教授（2009年～現在）

○学位 横浜国立大学教育人間科学部研究科 教育学修士

○著書・論文

- ・『PISAの「読解力」調査と全国学力・学習状況調査——中学校の国語科の言語能力を中心に』2014年（神奈川新聞社）
- ・『中学生の「記述力」を育てる6つの要素——すぐに使える珠玉の授業プラン19』2010年（明治図書）
- ・『文科省全国学力調査 中学校国語B問題対応の教材開発——知識・技能を活用する「記述式」の課題づくり』岩間正則編著 2009年（明治図書）
- ・「全国学力・学習状況調査の中学校A問題について考える」『月刊国語教育研究8月号』2014年（日本国語教育学会編）50－57頁
- ・「中学校学習指導要領実施上の課題とその改善（国語）」『中等教育資料6月号』2014年（学事出版）10－15頁

○社会における活動

- ・中学校国語教科書『新編 新しい国語』（東京書籍）編集委員（1992年～現在）
- ・中学校学習指導要領解説国語編作成協力者（2006年～2008年）

○教職課程を目指す方へ

現在の平成20年版の学習指導要領の改訂の前後には、学校教育法の中で学力規定が設けられたり、PISA調査の影響を受けた全国学力・学習状況調査が行われたりするなど、さまざまな教育改革が行われてきました。こうした教育改革の流れは今後も続きます。また、社会の変化も激しく、さまざまな社会の課題が教育に大きな影響を与えています。こうした中であって教師を目指すためには、次のパラダイムに対応できるような、柔軟な思考力

と実践力を身に付けていくことが求められます。そうした教師としての資質能力を大学として育成していきたいと考えています。